

～夏季講習～

床改修プレゼン



中村設計新聞

第百二十三号

六月十五日 晴れ

「役員の3人が初めて設計した物件について」
 豊田所長、岩田・榎田副所長が20代、30代の時に設計した物件を竣工写真や図面をもとにお話していただきました。3人共、共通して屋根や軒先の形状、タイルや樋、照明などのディテールに対してのこだわりを持って設計されていることが判りました。設計するにあたって各部位の細かな所をこだわるのが大事だと所員一同認識する機会となりました。当時は今と違って、手書きで図面が書かれており、図面のレイアウトや詳細図の書きっぷりなどこれから図面を書く時に参考にしたいと思えます。3人のように若い時から設計に対して自分の考えを持って日々努力したいと思います。

「中村設計床改修プレゼン」
 中村設計床改修プレゼンの2回目を実施しました。「フリーアドレスで、タイルカーペットの色調が素敵で、2階と3階を入替等」という案の若狭さんが投票で1位に。また、前回も若狭さんが1位ということで、賞品を総取りという結果になりました。今回のプレゼンをもとに、具体的な案をまとめます。どんな改修になるのか、いまから楽しみです。



報告会の様子



表彰式

「はじめに」
 6月の土曜研修は午前中、設計監理報告会とCADについて講習を行い、知識の共有及びCADの標準化を図りました。
 午後は中村設計床改修プレゼン、夏季講習として役員3人が初めて設計した物件についてお話を聞きました。

新入所員歓迎会

4・5月に新入所員を迎え、東華菜館にて歓迎会を行いました。大正時代にウィリアム・メレル・ヴォーリズによって設計された建物で、日本最古のエレベーターが今も現役で活躍しています。名建築のトロピカルな空間でおいしい料理をいただき所員の会話も弾みました。時間となりました。



玄関には蝮のレリーフ



集合写真



～竣工物件～

「上宮津地区公民館移転工事」
 平成27年3月に「上宮津小学校」(京都府宮津市)は閉校しました。利活用を目的として令和6年4月に「上宮津地区公民館」として生まれ変わりました。外観は当時の学校の雰囲気を残しつつ、玄関周りを新しい顔となるよう整備しました。内部には京都府内産木材を使用した内装を取り入れ、懐かしさと木の温もりが感じられる空間としました。誰もが利用しやすい多目的便所を、玄関にはスロープを設け、バリアフリー化を行っています。今後も上宮津のシンボルとして使われ続けて欲しいと設計を行いました。



玄関ホール



外観



図書室



会議室

京都 TOPICS

「祇園祭 後祭」
 7月になると京都市内は祇園祭り一色となります。平安時代から続く疫病を祓うための八坂神社で行われる1ヶ月に渡る神事です。7月17日からは「後祭」の山・鉾建てが行われます。2014年に復活し、今年で10年となります。24日には11基の山鉾の巡行と山鉾の古い形態を現代に再現した「花傘巡行」が行われます。花傘巡行は前祭と後祭に統合された昭和41年に興されました。花傘は芸術的色彩が非常に濃く、子供神輿、巫女装束の神饌行列、花傘娘、織商鉾等、山鉾とは異なる華やかさが魅力です。巡行するものと観るものとの祈りを共にする一体感の感じられる祭りです。



花傘巡行



中村設計菜園



6月に入りまだまだ夏は遠いものの、一気に気温と湿度が上がりました。つぼみは次々に花を咲かせ、実を結びます。しかし、ミニトマトは一向に赤くならず、ナスはいまいちツヤのないまま成長してしまいます。必死に原因を調べ、どうやら水不足ということに気づきました。朝と晩の2度だった水やりを、朝昼晩の3度に増やし、様子をつかがいます。するとたちまち色を変え、ピカピカになりました！収穫時期を見極め、記念すべき第1回目の収穫では想像以上のボリュームとなりました。毎日欠かさず世話をして愛を注いだ野菜たちは、ひとときわ美味しい気がしました。



1回の収穫でこんなに！



そっと切りはなします



収穫時期を見極める所長

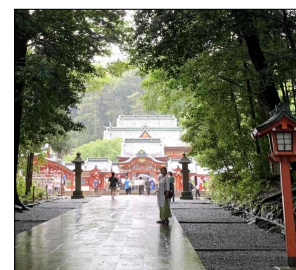


所員の休日 TOPICS

「霧島神社」
 鹿児島県霧島に行ってきました。日本神話では神々が降り立った地とされていて、名前のとおり、霧深く緑の美しい場所でした。近くには、温泉の湯けむりが立ち上っている所もあり、神秘的で癒されました。 藤田麻里



御神木



霧島神社 参道